

稲作だより

第4号

令和8年5月13日発行
やまがた温暖化対応米づくり日本一運動
西村山農業技術普及課
TEL: 0237-86-8301

5月17日頃から、かなり高温の予報！(仙台管区气象台、5/11発表)
適期移植と適切な水管理で初期茎数を確保しましょう！

田植えまでの育苗管理

- ・今後も高温が続く見込みです。**田植え1週間前頃から育苗ハウスは昼夜とも開放し、徒長苗や老化苗にならないように管理を徹底しましょう。**
徒長苗は、田植え後の新根発生が停滞し、活着が遅れやすくなるため、注意が必要です。
- ・育苗後半は、苗が水分を多く消費するため、乾きやすくなります。**かん水は十分な水量で早朝に1回が基本ですが**、追加でかん水が必要な場合は、昼頃に行いましょう。
夕方のかん水は床土の温度が下がり、根張り不良となるため避けましょう。

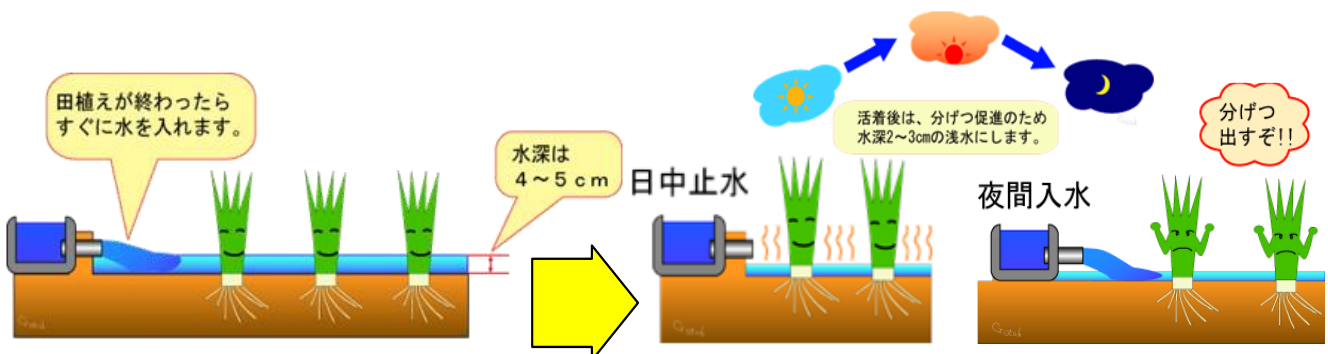
本田初期の管理

1 田植え

- ・**適期は5月15日～20日頃、晩限は5月25日!!**
適期内に終了できるよう、計画的に作業を進めましょう。
- ・低温や強風下での田植えは、植え傷みの原因となり、活着や生育初期の遅れに繋がります。
天気の良い日を選んで田植えを行いましょう。
- ・**栽植密度は70株/坪、株当たり4～5本、植付け深3cm**を目安に行いましょう。
過度な疎植や極端な深植えは、茎数不足になるので避けましょう。

2 水管理

- ・**田植え直後は、4～5cm程度の水深**で活着を促進しましょう。
風や外気から苗を保護することで、苗の消耗を防ぎ、新根の発生を促します。
- ・**活着後は、2～3cmの浅水管理**とします。
- ・日中止水・夜間かんがいの保温的管理を行い、分けつの発生を促進しましょう。



3 除草剤の施用

- ・漏水しやすい畦畔は補修等を行い、漏水を防ぎましょう。
- ・代かきをゆっくり丁寧にいき、圃場を均平にし、水持ちがよい圃場にしましょう。
- ・**気温が高いと、ヒエやホタルイ等の雑草の葉齢も一気に進みます。**
雑草の発生状況、除草剤の使用時期をよく確認し、遅れないように散布しましょう。
- ・散布時の水深は、粒剤・フロアブル剤が**3~5cm**、ジャンボ剤が**5~6cm**です。
田面が露出すると、除草剤の拡散が不十分となり、除草効果が劣るので注意しましょう。
- ・**散布後7日間は止水**し、田面の露出を防ぎましょう。
- ・ワキの発生が毎年みられる圃場では、**一発処理除草剤散布前に田干し（1~2日程度落水）**を行うことで、ワキによる被害を軽減できます。

土壌の異常還元対策

- ・**土壌の異常還元(ワキ)は、晴天・高温が続くと発生**します。ワキが発生すると、根の活力が低下し、葉が黄化して初期生育が停滞します。
- ・晴天・高温が数日続く場合は、2~3日おきに、用水の入替えを行い、根に酸素を供給しましょう。
- ・ワキの発生がみられたら、下記の表を参考に、**水交換、夜間落水、田干し**を行い、ワキの軽減に努めましょう。

表 「ワキ」の発生程度による生育への影響と対策

「ワキ」の程度	生育への影響	対策
水田を歩くと気泡が発生する	中：根の活力低下	水交換
水田を歩くと盛んに気泡が生じ、においを感じる	大：根張り不良	水交換、夜間落水
水田を歩くと著しく気泡が生じ、においを強く感じる	特大：根の伸長阻害 地上部黄化	田干し（曇天日2~3日）

「やまがた米づくりナビ」で適期作業！

適期作業カレンダー・
穂肥マップ・
刈取適期マップを
活用しましょう！

※ID、パスワードは普及課までお問合せください



稲作だよりを
LINEで発信しています

春季農作業事故防止運動強化期間(4/1~6/10)

トラクターや田植機等による事故に十分注意しましょう！

農薬は、ラベルをよく読んで適正に使用しましょう！

熱中症にも十分注意して作業を行いましょう！